

## 《第9回 JEITA 電子材料セミナー》 レアアースに関する政策と 次世代モータの技術開発動向

### － 開催概要 －

主催	一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 電子材料事業委員会
日時	2012年11月30日(金) 14:00 - 16:50 *13:30 受付開始
会場	一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 401 - 403 会議室 〒100-0004 千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 4F *アクセス <a href="http://www.jeita.or.jp/japanese/about/location/">http://www.jeita.or.jp/japanese/about/location/</a>
聴講料	JEITA 会員会社 : 5,000 円 (税込) 一般 : 10,000 円 (税込) *資料代含む
定員	90 名 *定員になり次第、締切りとさせていただきます。
申込〆切	2012年11月16日(金)

### － お申し込み要領 －

申込方法	別紙 <b>申し込み用紙</b> に必要事項をご記入の上、下記宛先へお申込みください。 お申込み受け付け完了後、E-mail にて受講証をお送りします。 *恐れ入りますが、携帯メールからのお申込みはご遠慮ください。
申込先	E-mail : <a href="mailto:ecd01@jeita.or.jp">ecd01@jeita.or.jp</a> 一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 事務局 菊池宛て
支払方法	聴講料を当日会場にご持参ください。領収証をご用意します。

## - プログラム -

## 14 : 00 - 14 : 05 開会挨拶

JEITA 電子材料事業委員会 委員長 藤井 博行 氏 \*日立金属(株) 代表執行役 執行役社長

## 14 : 05 - 14 : 55 「レアアース問題の最新動向と政策的対応」

経済産業省 製造産業局 非鉄金属課 希有金属室長 井上 幹邦 氏

広範なハイテク製品の部品生産に必須の金属素材であるレアアースは、その生産の9割以上を中国に依存している。2010年以降、中国政府はレアアースの輸出・生産管理を大幅に強化し、世界に衝撃を与えた。ハイテク製品の世界的需要は拡大し続ける中、どのような政策的対応を講じてこの局面を打開していくのか。日本国内の技術的対応から国際的取り組み、資源確保戦略まで、総合的な対策の最新動向と課題を説明する。

## 15 : 00 - 15 : 50 「資源対策を考慮した高効率モータの検討課題と開発動向」

(株)日立製作所 日立研究所 モータシステム研究部 部長 三上 浩幸 氏

モータは技術開発の蓄積により、今なお小型・高効率化が進展している。中でも材料技術の貢献は大きく、特にレアアース磁石の導入がモータによる新たな電動化市場を創生し、その牽引力となってきた。しかし、レアアースを取り巻く環境変化からも明らかのように、今後のモータ開発では従来からの小型・高効率化に加え、資源対策視点を付与することが必須といえる。本発表では、これまでのモータにおける技術開発内容を振り返り、資源対策観点からのモータ検討課題を示すとともに、省資源化に着目した開発動向の分析を通じ、今後の開発方向性を予測する。

## 16 : 00 - 16 : 50 「EV・HEV用モータ開発のトレンドと今後の課題」

(株)本田技術研究所 四輪R&amp;Dセンター 第5技術開発室 主任研究員 山本 恵一 氏

日本においては、EV・HEVの本格普及が始まっている。また、中国・米国・欧州においてもEV普及の動きは加速している。EV・HEVの中核を成すコンポーネントとしてモータはバッテリーに並び重要な位置づけを占める。現時点においては、PMSMの領域日本は技術でリードをしているが、レアアース供給の問題等予断を許さない状況である。本講演ではEV・HEV用モータ開発の現状とそのサプライチェーンについて考察し、解説・課題提起をするものである。

&lt;本件に関するお問い合わせ&gt;

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 事務局 西島 TEL : 03-5218-1056

## － 会場へのアクセス －

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)

〒100-0004 千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 4F TEL : 03-5218-1056



◇JR 東京駅より徒歩 10 分

◇東京メトロ千代田線・東西線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線「大手町駅」  
C9 出口より徒歩 1 分（各路線・各駅ともビル地下 1 階連絡通路より直結）

### <大手センタービルへの入退館について>

当協会が入居する「大手センタービル」では、ビル内のセキュリティ強化を図るため、ビル管理会社により定められた入退館方法が運用されております。

当協会に来訪いただく際には、受付の案内に従いご入館ください。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。